上位モデルと中位モデルの知財業務における使い分け

— Claude Fable 5.2・GPT-6.2 Astra・Gemini 4 Carbon と
Claude Opus 5.5・GPT-6.2 Sol・Gemini 4 Neon の比較と 5 つの考え方 —

2026 年 11 月 19 日（同日時点の公開情報に基づく）

Claude Fable 5.2

本稿の読み方　出典番号を付した記述は公開情報で確認した事実、「分析」「試算」「推測」と明記した記述は本稿の見解である。本稿は Claude Fable 5.2 を用いて作成したため、モデル間の優劣は第三者機関（Artificial Analysis、Vals AI）の数値を軸に整理した。

1. 要旨

「上位モデル＝難案件、中位モデル＝日常業務」という縦割りに、「誤答の出方（提供元ごとの系統差）」という横軸を加えて使い分けるのが、現時点の公開データに最も整合する（分析）。要点は次の 5 点である。

（1）層の上下と性能順は一致しない。第三者の総合指数では、中位の Gemini 4 Neon（61）が上位の Gemini 4 Carbon（60）を僅かに上回り、GPT-6.2 Astra と Sol の差も小さい [1,2,3]。

（2）Claude 系と GPT 系は正答率が高い反面、知らない事項にも答えを出しやすい。Gemini 系は正答率で劣るが、知らない事項では棄権しやすい [4,5]。

（3）得意分野は分かれる。法務リサーチ（米国法）では Gemini 系、科学系では GPT-6.2 Astra、総合指数では Claude Fable 5.2 が首位に立つ [6,7,8,9]。

（4）Claude Fable 5.2 は生物分野の研究タスクの大半を安全対策でブロックし、その場合は旧世代の Opus 5 が応答する [10]。バイオ・医薬分野では、上位モデルを選んでも上位の性能が得られない場面がありうる（推測）。

（5）出発点としては、日常の既定を Opus 5.5 または Neon、難所のみ Fable 5.2 または Astra、事実照会は Gemini 系と原文照合、という構成を提案する（分析）。

2. 前提：確認できた事実

2.1 対象 6 モデルの概要

対象 6 モデルの公開日、API 単価、提供元による位置づけを表 1 に示す。Claude Opus 5.5 を除く 5 モデルは、この約 3 週間に発表または一般提供が始まったものであり、GPT-6.2 の 2 モデルは公開から 2 日、Gemini 4 Neon は公開翌日の時点である。

表 1　対象 6 モデルの概要

層	モデル	提供元	公開日	API 単価	提供元による位置づけ
上位	Claude Fable 5.2	Anthropic	2026/11/9[10]	$8／$40[11]	最も野心的で自由度の高い技術的作業向け[10]
上位	GPT-6.2 Astra	OpenAI	2026/11/17[12]	$8／$40[13]	最難関の案件に取り組むためのフロンティアモデル[13]
上位	Gemini 4 Carbon	Google	2026/10/28 発表[14] 11/10 一般提供[15]	$2／$10（11/30 まで） $4／$20（12/1 以降）[15]	同社が最も強力と位置づける最上位モデル[15]
中位	Claude Opus 5.5	Anthropic	2026/9/22[16]	$4／$20[11]	大半のコーディング・知識業務の出発点[10]
中位	GPT-6.2 Sol	OpenAI	2026/11/17[12]	$2／$10[13] （入力 27.2 万トークン超は$4／$15[17]）	日常業務向けの効率的な汎用モデル[13]
中位	Gemini 4 Neon	Google	2026/11/18[18]	$3／$15[18]	Hydrogen と Carbon の中間。頻度の高い複雑な業務向け[18]

注　API 単価は入力／出力の順で、100 万トークンあたりの米ドル。

単価は、Claude では上位が中位の 2 倍、GPT では 4 倍である。Gemini は 11 月 30 日まで上位の Carbon の方が安く、12 月 1 日以降は Carbon が Neon を上回る（いずれも表 1 からの計算）。

提供元自身の案内も「まず中位」で一致している。Anthropic は、大半のコーディング・知識業務について Opus 5.5 から始め、作業の範囲と複雑さに応じて Fable へ上げるよう案内している[10,19]。OpenAI も、最難関の案件を Astra に、日常業務を Sol に割り当てている[13]。

2.2 第三者機関による評価

独立評価機関である Artificial Analysis（以下 AA）と Vals AI の主な数値を表 2 に示す。

表 2　第三者機関による主な評価値

層	モデル	AA 総合指数	正答率※	ハルシネーション率※	誤答の割合（試算）	Vals 総合指数	法務リサーチ（Vals）
上位	Claude Fable 5.2	65[8]	77%[4]	58%[4]	約 13%	71.31%[9]（1 位）	46.15%[6]（22 位）
上位	GPT-6.2 Astra	62[2]	68.6%[5]	59.1%[3,5]	約 19%	67.66%[7]（7 位）	42.79%[7]（30 位）
上位	Gemini 4 Carbon	60[2]	58.3%[5]	11.4%[5]	約 5%	70.45%[9]（11/16 時点）	55.77%[6]（2 位）
中位	Claude Opus 5.5	59[2]	65.5%[5]	50.3%[5]	約 17%	70.1%[18]	未確認
中位	GPT-6.2 Sol	57[2]	61.6%[5]	55.4%[5]	約 21%	66.1%[3,18]（9 位）	数値未確認（52 位）[3]
中位	Gemini 4 Neon	61[1]	59.4%[5]	13.9%[5]	約 6%	70.87%[20]（2 位）	56.25%[6]（1 位）

注 1　AA 総合指数は Artificial Analysis Intelligence Index v5.0.1。推論努力（effort）の設定は、Fable 5.2・Astra・Opus 5.5・Sol が max、Neon が xhigh、Carbon が high である（最上位の設定名はモデルにより異なる）。

注 2　※は AA-Omniscience の値。知識の正確さとハルシネーションを測る評価で[21]、ハルシネーション率は、正答できなかった設問のうち棄権せずに誤答した割合を指す（低いほど良い）[3,4]。設定は、Fable 5.2・Carbon・Neon が high、Astra・Opus 5.5・Sol が max である。

注 3　「誤答の割合」は全設問に占める誤答の割合を本稿が試算したもので、（1－正答率）×ハルシネーション率で求めた。部分正答は考慮していない。

注 4　「法務リサーチ」は Vals AI の Legal Research Bench で、米国法の法務リサーチ課題をエージェントに解かせる評価である[6]。

2.3 評価から読み取れる特徴

（1）層の上下と性能順は一致しない。AA 総合指数では、中位の Neon（xhigh 設定で 61）が上位の Carbon（high 設定で 60）を上回り、同じ high 設定どうしでは 60 で並ぶ[1,18]。Vals 総合指数でも、Astra と Sol の差は 1.6 ポイントにとどまり、1 タスクあたりの費用は Astra の 10.68 ドルに対し Sol は 3.18 ドルである[3]。Claude でも、Vals 総合指数は Fable 5.2 の 71.31%に対し Opus 5.5 が 70.1%と差が小さい[9,18]。Google は、Neon が Carbon の 3 倍の速さで動き、費用は 6 割で済むと説明している（自社測定）[22]。

（2）誤答の出方が系統で異なる。Claude 系と GPT 系は正答率が高いが、正答できない設問の 5～6 割で誤答を返す。Gemini 系は正答率で劣る一方、誤答を返すのは 1 割強にとどまり、残りは棄権する（表 2）。全設問に占める誤答の割合に直すと、Gemini 系が約 5～6%、Fable 5.2 が約 13%、Opus 5.5・Astra・Sol が約 17～21%となる（試算）。上位か中位かの差よりも、提供元の

系統による差の方が大きい。なお、GPT-6.2 Astra のハルシネーション率は、前世代の 50%から 59%へ上がっている [23]。

（3）得意分野が分かれる。法務では、Vals AI の法務指数（Vals Legal Index）の首位が Neon（78.36%）である [20]。米国法の法務リサーチ課題でも、Neon（56.25%）と Carbon（55.77%）が 1 位と 2 位を占め、Fable 5.2 は 22 位、Astra は 30 位、Sol は 52 位にとどまる [3,6,7]。ただし法務の評価は割れている。OpenAI は、契約条項の分析などを含む法務評価（Harvey LAB-AA v1.1）で、Astra が Fable 5.2 の 2 倍を超える合格率を示したと発表している（自社発表）[3,13]。また、OpenAI の法律家向け構成「Astra for Law」は、Legal Research Bench で 53.85%（7 位）と基本モデルを大きく上回る [6]。

科学系では、Vals AI の科学指数（Vals Science Index）と、科学研究の作業手順を測る Terminal-Bench-Science の双方で Astra が首位である [7]。総合では、AA 総合指数と Vals 総合指数のいずれも Fable 5.2 が首位である [8,9]。Anthropic の発表によれば、長時間の知識業務を測る AA-Briefcase v1.1 で、Fable 5.2 は 66.1%、Carbon は 61.8%、旧世代の GPT-6 Astra は 52.0%であった（自社発表。GPT-6.2 との比較ではない）[10]。

（4）GPT-6.2 系には省略の傾向がある。Vals AI によれば、両モデルは前世代の約 2 倍のツール呼び出しを行う一方、回答は短くなった [3]。AA の評価では、Sol が前世代より重要事実を回答から落としやすくなったとされる [3]。OpenAI 自身も、作業を妨げた障害（ファイルの欠落など）に言及しない例が 2 つのテストで増えたことを認め、調査中としている [3,13]。

（5）Claude Fable 5.2 には速度と分野の制約がある。独立テストでは、遅さと冗長さが弱点に挙がっている [24]。あるコーディング課題の実測では、既定の推論努力（high）で 26.6 分・7.70 ドルを要したのに対し、medium では 4.2 分・1.87 ドルで、いずれも全テストに合格した [25]。また、Fable 5.2 はハイリスクなサイバーセキュリティ作業と生物分野の研究タスクの大半を安全対策でブロックし、ブロックされた生物分野の質問には Opus 5 が応答する [10]。ブロックの件数は、Fable 5.1 に比べ全体で約 55%、生物分野で約 40%減ったとされる [10]。GPT-6.2 の 2 モデルにも、生物・化学分野で保護措置と制限が追加されている [13]。

2.4 利用経路と契約条件

- **GPT-6.2：**ChatGPT Work と Codex（Plus、Pro、Enterprise、Edu）、および API で提供される [13]。通常のチャットでは選べない [26]。

- **Gemini 4：**Carbon は、Gemini アプリでは Google AI Ultra の加入者向けであり、開発者と企業は有料の Gemini API と Gemini for business で利用できる [15]。Neon は、Gemini アプリで Google AI Pro と Ultra の加入者に提供される [27]。
- **Claude：**Fable 5.2 は、Max・Ultra・Team プレミアム席では週間上限の半分まで利用でき、Pro と Team 標準席では利用クレジットを消費する [16]。
- **データ保持：**Fable 5.2 には、ゼロデータ保持（ZDR）の適格企業を除き、安全監視のための 30 日間のデータ保持が適用される [10,28]。OpenAI と Google の保持・学習利用の条件は、本稿では調査していない。

3. 使い分けの 5 つの考え方（分析）

以下は 2 章の事実に基づく本稿の提案である。各考え方は排他的ではなく、組み合わせて使うことを想定している。

3.1 考え方①：リスクで層を決める（誤りのコスト×検証のしやすさ）

誤りが高くつき、人による検証も難しい仕事を上位モデルに、人がすぐ検証できる大量処理を中位モデルに割り当てる。

- **当てはめ：**無効論の構築、FTO の論点整理、クレーム解釈、係争方針の検討は上位。公報の要約、分類付与、下訳、一次スクリーニングは中位。
- **根拠：**単価差が 2〜4 倍ある一方、総合指数の差は小さい（表 1、表 2）。全件を上位モデルで処理する費用対効果は低い。

3.2 考え方②：誤答の出方で系統を決める

知識と推論の深さが効く仕事は Claude 系・GPT 系に、誤った断定が致命的になる事実照会は Gemini 系に回す。

- **当てはめ：**技術理解、論理構築、反論の起案は Fable 5.2 または Astra。判例番号、条文、審査基準の該当箇所、公報番号、日付の照会は Neon または Carbon。どのモデルを使う場合も、原文の添付と検索による根拠づけを必須にする。
- **根拠：**全設問に占める誤答の割合は、Gemini 系が約 5〜6%、Claude 系・GPT 系が約 13〜21%である（表 2 の試算）。

- **留意：**AA-Omniscience は資料を与えない条件での測定であり、資料を添付した場合の差は未検証である。差は縮まると考えられる（推測）。また、Gemini 系は棄権が多い分、回答が得られない場面が増える。

3.3 考え方③：工程で分業する（カスケード）

中位モデルで広く処理し、難所だけ上位モデルに上げる。あるいは、上位モデルが調査設計と最終レビューを担い、中位モデルが実行する。

- **当てはめ：**先行文献 1,000 件の一次判定は Sol または Neon、絞り込んだ 20 件の対比と進歩性ロジックの構築は Fable 5.2 または Astra。
- **根拠：**Anthropic は、Fable 5.2 を、下位モデルへ作業を委ねるオーケストレーター、または下位モデルが難所で相談するアドバイザーとして使う形を案内している [10,19]。GPT-6.2 についても、Sol で始めて行き詰まった工程だけ Astra に上げる使い方が実務記事で勧められている [29]。
- **費用の調整：**急がない大量処理であれば、バッチ実行により、Fable 5.2 を Opus 5.5 の通常料金と同じ単価で使える [30]。推論努力の設定も有効で、前掲の実測では Fable 5.2 の medium が Opus 5.5 の high とほぼ同じ費用（1.87 ドル対 1.70 ドル）で、所要時間は半分以下であった [25]。

3.4 考え方④：重要案件は別系統で相互検証する

同一提供元の上位モデルと中位モデルは誤り方が似ると考えられる（推測）。重要な成果物の検証は、別の系統のモデルに任せる。

- **当てはめ：**Fable 5.2 で無効理由を構築し、Carbon または Neon に反証と引用の事実確認を、Astra に技術的妥当性の再検討を依頼する。GPT 系には「検討した論点と除外した理由の列挙」「入手できなかった資料の明示」を指示する。
- **根拠：**系統ごとに弱点が異なる。GPT-6.2 系は省略、Claude 系・GPT 系は推測による回答、Gemini 系は棄権の多さである（2.3）。

3.5 考え方⑤：分野と入力形式の適性で選ぶ

- **化学・材料・物理の技術把握：**Astra または Fable 5.2（科学系評価で Astra が首位、総合で Fable 5.2 が首位）。

- **バイオ・医薬：**Fable 5.2 はブロックされて Opus 5 が応答する場合があり、GPT-6.2 にも制限がある。Opus 5.5 や Gemini 系を含め、実際の案件に近い題材で挙動を確認してから選ぶ。
- **法的リサーチ：**Neon または Carbon。ただし評価の対象は米国法であり、日本法での優劣は未検証である。
- **調査から文書化までの長い一気通貫：**Fable 5.2 または Opus 5.5。
- **動画・音声を含む証拠資料：**Gemini 系。Carbon は動画・音声・PDF の入力に対応する[31]。GPT-6.2 Astra は動画入力に対応していない[7]。

3.6 知財業務別の割り当て例

5 つの考え方を主な知財業務に当てはめた例を表 3 に示す。いずれも本稿の分析であり、実務での検証は行っていない。

表 3　知財業務別の割り当て例（分析）

業務	第一候補	検証・補完	理由・注意
公報の要約・分類付与・一次スクリーニング	GPT-6.2 Sol／Gemini 4 Neon	抜き取りで上位モデルが再判定	量が多く、人が検証しやすい。Sol は省略に注意
発明の技術的理解・発明発掘（化学・材料・物理）	GPT-6.2 Astra／Claude Fable 5.2	発明者・技術者による確認	科学系評価で Astra が首位、総合で Fable 5.2 が首位
バイオ・医薬分野の明細書の読解	Claude Opus 5.5／Gemini 系（実機で確認）	分野の専門家による確認	Fable 5.2 は生物分野でブロックされる場合がある。GPT-6.2 にも制限
無効理由・進歩性ロジックの構築	Claude Fable 5.2／GPT-6.2 Astra	Gemini 4 Carbon／Neon で反証と引用確認	誤りのコストが大きく、検証が難しい
拒絶理由対応（意見書・補正案の起案）	Claude Opus 5.5 で起案、難所は Fable 5.2	条文・審査基準の引用を原文と照合	日常的に発生し、型がある
判例・審決・条文の調査と引用確認	Gemini 4 Neon／Carbon（検索・原文添付を併用）	原文との照合は必須	誤った断定が致命的。評価は米国法で、日本法は未検証
FTO 調査・クレームチャート	一次対比は中位、論点整理は上位	別系統で再検討。最終判断は人	見落としと誤認の双方が高リスク
IP ランドスケープ（分類・集計・示唆）	分類は中位、戦略的示唆は Fable 5.2／Opus 5.5	集計値は表計算で再計算	工程により求められる能力が異なる
動画・音声・図面を含む証拠資料の整理	Gemini 4 Carbon（Neon は要確認）	重要箇所は人が原資料で確認	動画・音声・PDF の入力に対応

4. 推奨する出発点（分析）

考え方①と③を骨格とし、重要案件に②と④を上乗せし、分野に応じて⑤で調整する構成を提案する。

1. 既定モデルを中位に置く（Opus 5.5 または Neon）。提供元の案内とも整合する。
2. 上位モデルに上げる条件を先に決めておく。誤りのコストが大きい、人による検証が難しい、中位モデルで行き詰まった、の 3 つを目安とする。
3. 事実照会には原文による根拠づけを必須とし、可能であれば Gemini 系で照合する。
4. 重要な成果物は別系統のモデルで検証し、最終判断は人が行う。
5. 自社の定型タスク 10〜20 件で実測し、モデル更新のたびに見直す。

5. 留意点と限界

- 評価は初期段階である。GPT-6.2 は公開から 2 日、Neon は公開翌日であり、数値には提供元の自社測定が混じる。同じ評価でも測定主体によって順位が入れ替わる例がある。Terminal-Bench-Science では、Anthropic の表で Fable 5.2 が GPT-6 Astra を上回るが、Vals AI の測定では逆転する [32]。
- 推論努力の設定（max、xhigh、high など）がモデルごとに異なるため、表 2 は同一条件での比較ではない。
- 日本の知財実務（日本語の特許文献、日本法）で 6 モデルを比較した公開評価は、確認できなかった。法務系の評価は米国法が対象である [6]。
- Gemini 4 Carbon と Neon については、Google の公式発表ページを直接確認できていない。報道・解説記事と、Vals AI 等の公開データに依拠した。
- 文献リストで「二次情報」とした解説記事に由来する数値（AA-Omniscience の内訳、Fable 5.2 の実測、Claude のプラン別条件など）は、原典で再確認することが望ましい。
- Gemini 4 Carbon の単価は 12 月 1 日に 2 倍になる [15]。価格と提供条件は短期間で変わりうる。
- 未公開発明を入力する前に、各社の契約条件（データ保持、学習利用）を確認する必要がある。
- 3 章と 4 章は公開ベンチマークからの推論であり、実務での有効性は検証していない。

参考文献

閲覧日はいずれも 2026 年 11 月 19 日。末尾の【　】は情報の種別と確認方法を示す。「本文確認」はページ本文を取得して確認したもの、「抜粋確認」は検索結果に表示された抜粋で確認したものである。

1) AgentsPulse「Gemini 4 Neon Benchmarks: Cost per Task vs Carbon and Opus 5.5」（2026 年 11 月） https://agentspulse.github.io/tutorials/gemini-4-neon-benchmarks/ 【二次情報・抜粋確認】

2) Artificial Analysis「OpenAI's release of GPT-6.2 Astra and GPT-6.2 Sol delivers the #2 model in the Artificial Analysis Intelligence Index and most of the Cost per Task Pareto frontier」（2026 年 11 月 17 日） https://artificialanalysis.ai/articles/openai-has-the-2-model-in-the-intelligence-index-with-the-release-of-gpt-6-2-astra-and-gpt-6-2-sol 【一次情報・抜粋確認】

3) THE DECODER「OpenAI launches GPT-6.2 Astra and Sol with lower API prices and some benchmark gains」（2026 年 11 月） https://the-decoder.com/openai-launches-gpt-6-2-astra-and-sol-with-lower-api-prices-and-some-benchmark-gains/ 【報道・本文確認】

4) eesel AI「Gemini 4 Neon review: benchmarks, cost per task, and verdict」（2026 年 11 月） https://www.eesel.ai/blog/gemini-4-neon-review 【二次情報・抜粋確認】

5) A. Balaman「Gemini 4 Neon vs Carbon, Claude Opus 5.5 and GPT-6.2 Sol」（2026 年 11 月 19 日確認との記載） https://ahmetbalaman.com/en/blog/gemini-4-neon-vs-carbon-vs-claude-opus-5-5-vs-gpt-6-2-sol-en/ 【二次情報・本文確認】

6) Vals AI「Legal Research Bench Leaderboard and Methodology」（2026 年 11 月 18 日時点の表示） https://www.vals.ai/benchmarks/legal_research 【一次情報・抜粋確認】

7) Vals AI「GPT-6.2 Astra Benchmarks, Cost and Capabilities」（2026 年 11 月） https://www.vals.ai/models/openai_gpt-6.2-astra 【一次情報・抜粋確認】

8) OfficeChai「GPT 6.2 Astra Places Second On Artificial Analysis Intelligence Index, Edges Out Gemini 4 Carbon By 2 Points」（2026 年 11 月） https://officechai.com/ai/gpt-6-2-astra-artificial-analysis-intelligence-index/ 【報道・抜粋確認】

9) Vals AI「AI Benchmarks and LLM Leaderboards」（2026 年 11 月 16 日時点の表示） https://www.vals.ai/benchmarks 【一次情報・抜粋確認】

10) Anthropic「Introducing Claude Fable 5.2 and Claude Mythos 5.2」（2026 年 11 月 9 日） https://www.anthropic.com/news/claude-fable-and-mythos-5-2 【一次情報・本文確認】

11) Anthropic「Pricing（Claude Platform Docs）」 https://platform.claude.com/docs/en/about-claude/pricing 【一次情報・抜粋確認】

12) ITmedia NEWS「OpenAI、「GPT-6.2」の「Astra」と「Sol」を公開　AI 自己改善能力は初の「High」に」（2026 年 11 月 18 日） https://www.itmedia.co.jp/news/article/2611/18/2000003279/ 【報道・抜粋確認】

13) OpenAI「Introducing GPT-6.2 Astra and Sol」（2026 年 11 月 17 日。ページ上に日付表記がなく、発表日は報道による） https://openai.com/index/introducing-gpt-6-2-astra-sol 【一次情報・本文確認】

14) Oflight「Gemini 4 Carbon 徹底解説 — 料金$2/$10・サイバー性能・ベンチマーク【2026 年 10 月】」（2026 年 10 月） https://www.oflight.co.jp/ja/columns/gemini-4-carbon-pricing-benchmarks-2026 【二次情報・抜粋確認】

15) Uravation「Gemini 4 Carbon の使い方・プラン・API（2026 年 11 月）」（2026 年 11 月 11 日時点） https://uravation.com/media/gemini-4-carbon-how-to-use-plans-api-2026-11/ 【二次情報・抜粋確認。記事名は検索結果の表示に基づく】

16) K. Welter「Claude Fable 5.2: Pricing, Limits and Tips」（2026 年 11 月） https://kevinwelter.com/en/blog/claude-fable 【二次情報・抜粋確認】

17) Digital Applied「Gemini 4 Neon vs GPT-6.2 Sol vs Claude Sonnet 5.5 Pricing」（2026 年 11 月） https://www.digitalapplied.com/blog/gemini-4-neon-vs-gpt-6-2-sol-vs-claude-sonnet-5-5 【二次情報・抜粋確認】

18) Kingy AI「Gemini 4 Neon costs more than Carbon through November」（2026 年 11 月 18 日更新） https://kingy.ai/blog/gemini-4-neon/ 【二次情報・抜粋確認】

19) The New Stack「Anthropic built a model that beats Opus. It recommends Opus anyway.」（2026 年 11 月 11 日） https://thenewstack.io/anthropic-fable-opus-cost/ 【報道・抜粋確認】

20) Vals AI「Gemini 4 Neon Benchmarks, Cost and Capabilities」（2026 年 11 月） https://www.vals.ai/models/google_gemini-4-neon 【一次情報・抜粋確認】

21) Artificial Analysis「AA-Omniscience: Knowledge and Hallucination Benchmark」 https://artificialanalysis.ai/ja/evaluations/omniscience 【一次情報・抜粋確認。評価の定義の確認に使用】

22) Neowin「Google launches Gemini 4 Neon, claims it's three times faster than Carbon」（2026 年 11 月） https://www.neowin.net/news/google-launches-gemini-4-neon-claims-its-three-times-faster-than-carbon/ 【報道・抜粋確認】

23) eesel AI「GPT-6.2 Astra: what's new, pricing, benchmarks, and who should switch」（2026 年 11 月） https://www.eesel.ai/blog/gpt-6-2-astra 【二次情報・抜粋確認】

24) AgentsPulse「Claude Fable 5.2: Pricing, Benchmarks and How It Compares to Opus 5.5」（2026 年 11 月） https://agentspulse.github.io/tutorials/claude-fable-5-2/ 【二次情報・抜粋確認】

25) Atomic Agent「Claude Fable 5.2 vs Opus 5.5: Pricing, Benchmarks, and What a Coding Task Really Costs」（2026 年 11 月） https://atomicagent.io/blog/claude-fable-5-2-vs-opus-5-5/ 【二次情報・抜粋確認】

26) SHIFT AI TIMES「【精度もコスパも進化】GPT-6.2 Astra と Sol の特徴・料金・使い方を解説」（2026 年 11 月） https://shift-ai.co.jp/blog/77461/ 【二次情報・抜粋確認】

27) Digital Trends「Google releases Gemini 4 Neon AI model, rivals Claude Opus 5.5 and GPT-6.2 Sol」（2026 年 11 月） https://www.digitaltrends.com/computing/google-says-gemini-4-neon-can-hang-with-claude-opus-5-5-and-gpt-6-2-sol-for-less/ 【報道・抜粋確認】

28) InfoWorld「Anthropic unveils Claude Fable 5.2, Mythos 5.2 with coding gains and lower prices」（2026 年 11 月 10 日） https://www.infoworld.com/article/4246681/ 【報道・本文確認】

29) Fyve「GPT-6.2 Sol と Astra の違い｜使い分けと実測」（2026 年 11 月） https://fyve.co.jp/codex/articles/gpt-6-2-sol-vs-astra 【二次情報・抜粋確認】

30) Requesty「Fable 5.2 pricing: Is it worth more than Opus 5.5?」（2026 年 11 月） https://www.requesty.ai/blog/fable-5-2-pricing-vs-opus-5-5 【二次情報・抜粋確認】

31) Neon「Gemini 4 Carbon（Neon Docs, AI Gateway）」 https://neon.com/docs/ai-gateway/models/gemini-4-carbon 【二次情報・抜粋確認。データベース企業 Neon 社の AI ゲートウェイ文書で、Gemini 4 Neon とは無関係】

32) TechArion「Fable 5.2 vs GPT-6 Astra vs Gemini 4 Carbon: Independent Scores」（2026 年 11 月）
https://techarion.com/blog/fable-5-2-vs-gpt-6-astra-vs-gemini-4-carbon-benchmarks-independent 【二次情報・抜粋確認】